

Cloud Protection for Salesforce

Quick Installation Guide

目次

1: ソリューション概要	3
2: 導入	4
2.1 Salesforceの対応エディション	5
2.2 前提条件	5
2.2.1 Chatter 機能を有効にします	5
2.2.2 Chatter 設定で、投稿とコメントの編集を許可します	5
2.2.3 添付ファイルを Salesforce ファイルのアップロードとして許可する	5
2.2.4 他の言語を設定する	6
3: インストール	7
3.1 アプリケーションをインストールする	8
4: 権限セットとライセンスの指定	9
4.1 WithSecure Cloud Protection User 権限セットを指定する	10
4.2 WithSecure Cloud Protection Admin 権限セットを指定する	10
4.3 WithSecure Cloud Protection ライセンスを指定する	10
5: アップグレードする	12
5.1 アプリケーションをアップグレードする	13
6: アンインストール	14
6.1 権限セットの指定を削除する	15
6.2 アプリケーションをアンインストールする	15

ソリューション概要

WithSecure Cloud Protection for Salesforceは、Salesforceプラットフォームの既存のセキュリティ機能を強化および拡張するように設計されたクラウドベースのセキュリティソリューションです。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceは、Salesforce Cloudに出入りするコンテンツを分析します。これにより、Salesforce組織からアップロードまたはダウンロードされるファイルやURLが、会社、パートナー、顧客に対するサイバー攻撃に使用されることがなくなります。

このソリューションには、SalesforceアプリケーションとWithSecure Security Cloudが含まれています。WithSecure Security Cloudは、ファイルとWebサイトのレピュテーションとセキュリティサービスを提供します。WithSecure Cloud Protection for Salesforceアプリケーションは、会社が使用しているSalesforce Sales、Service、またはExperience Cloud(旧名「Community Cloud」)にインストールされます。他のソフトウェアをインストールしたり、ネットワーク構成を変更したりする必要はありません。

WithSecure Security Cloudは、脅威を分析して対応するためのクラウドベースのシステムです。数百万のセンサーノードから脅威インテリジェンスを収集し、デジタル脅威の大規模なデータベースを作成します。このデータベースは、世界的なサイバー脅威をリアルタイムで表示します。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceは、このデータを使用して、グローバルまたはローカルの脅威状況の変化に迅速に対応します。たとえば、当社のヒューリスティック分析と動作分析によって新たなゼロデイ攻撃が検出された場合、当社はこの情報をすべての顧客と共有します。これにより、高度な攻撃が最初に検出された直後に無効化することができます。

このソリューションは遅延を短縮するように設計されており、Salesforceの使用には影響しません。ファイルまたはコンテンツを分析する際、このソリューションはWithSecure Security Cloudを利用する多段階プロセスを使用します。このプロセス内のステップは、コンテンツのリスクプロファイルに基づいてアクティブ化されます。たとえば、ゼロデイマルウェアやその他の高度な脅威を使用した攻撃を防ぐように設計されたSmart Cloud Sandboxingテクノロジーを使用して、リスクの高いファイルのみがより徹底的な分析を受けます。

導入

トピック:

- [Salesforceの対応エディション](#)
- [前提条件](#)

このセクションでは、WithSecure Cloud Protection for Salesforceを組織に導入する手順について説明します。

アプリケーションの導入には次のステップがあります:

- アプリケーションをインストールする
- 権限セットとライセンスの指定
- アプリケーションの設定


以前のバージョンからアップグレードする場合は、[アプリケーションをアップグレードする](#) ページ13を参照してください。

2.1 Salesforceの対応エディション

WithSecure Cloud Protection for Salesforceアプリケーションは、Salesforce ClassicとLightning Experienceの両方のユーザーインターフェースで使用できます。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceアプリケーションは、次のSalesforceエディションと互換性があります。

- Enterprise
- パフォーマンス
- Unlimited
- デベロッパー

 **注:** アプリケーションを運用環境にインストールする前に、サンドボックスでテストすることを強くお勧めします。

2.2 前提条件

WithSecure Cloud Protection for Salesforceのインストールを開始する前に、ここでSalesforce設定を確認してください。

2.2.1 Chatter 機能を有効にします

WithSecure Cloud Protection for Salesforceをインストールして使用するには、Salesforce組織内でChatter機能が有効になっている必要があります。

Chatter 機能を有効にするには

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
3. **機能設定 > Chatter > Chatter 設定** を開きます。
4. 設定を変更するために [編集] を選択します。
5. **Chatter 設定** の下の [有効化] を選択し、[保存] を選択します。

2.2.2 Chatter 設定で、投稿とコメントの編集を許可します

Chatterの投稿とコメントでユーザーの言及が問題が発生することを阻止するためにChatter設定の[ユーザに投稿とコメントの編集を許可] 設定を有効にすることを強く推奨します。

この設定をSalesforceの組織でオンにするには

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
3. **機能設定 > Chatter > Chatter 設定** を開きます。
4. 設定を変更するために [編集] を選択します。
5. [投稿とコメントの変更] で [ユーザに投稿とコメントの編集を許可] を選択して、[保存] を選択します。

2.2.3 添付ファイルを Salesforce ファイルのアップロードとして許可する

ファイルを添付ファイルとして保存し、Salesforce Classicのユーザーインターフェースを使用する場合は、添付ファイルの設定ではなく、[Salesforce Files としてアップロードされたレコードの添付ファイル関連のファイル] の設定を有効にすることを推奨します。

この設定をオンにすると、添付ファイルとしてアップロードされたファイルは、アップロードまたはダウンロード時にSalesforceファイルに変換され、WithSecure Cloud Protection for Salesforceによってスキャンされます。

この設定をSalesforceの組織でオンにするには

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
3. **機能設定 > Salesforce Files > 一般設定** を選択します。
4. 設定を変更するために [編集] を選択します。
5. [レコードの [添付ファイル] 関連リストにアップロードされたファイルは、添付ファイルとしてではなく **Salesforce Files としてアップロードされます**] を選択して、[保存] を選択します。

2.2.4 他の言語を設定する

WithSecure Cloud Protection for Salesforceのデフォルト言語は英語ですが、他の言語を設定できます。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceは現在次の言語をサポートしています。

- 中国語簡体字
- 中国語繁体字
- チェコ語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- 研磨
- ポルトガル語
- ロシア語
- スロバキア
- スペイン語
- タイ語
- トルコ語

注: インストール時に管理者が選択した言語が警告の表示言語になります。



他の言語を設定するには

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
3. メニューから **ユーザインターフェース > 翻訳ワークベンチ > 翻訳設定** を選択します。
4. 有効にする言語の [アクティブ] チェックボックスを選択します。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceで有効にした言語をアカウント設定の **設定 > 個人情報 > 言語とタイムゾーン** から選択できるようになります。

インストール

トピック:

- [アプリケーションをインストールする](#)

ここでは、アプリケーションをインストールする方法について説明します。

以前のバージョンからアップグレードする場合は、[アプリケーションをアップグレードする](#) ページ13を参照してください。


3.1 アプリケーションをインストールする


次の方法でアプリケーションを Salesforce 環境にインストールできます。

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. **Salesforce AppExchange** マーケットプレイスを開き、WithSecure Cloud Protection アプリケーションを探し、**[今すぐ入手]** を選択してインストールを開始します。


WithSecure Cloud Protection は **Salesforce AppExchange** から入手できます。

<https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=a0N3A00000EJGqnUAH>

 **注:** WithSecure Cloud Protection for Salesforceのリリース プレビューまたはベータ版をインストールする場合、管理インストールパッケージへのダイレクトリンクが提供されます。インストールを開始するには Web ブラウザでリンクを開いてください。

 **注:** すでにリリースプレビュー版やベータ版のアプリケーションがインストールされている場合は、それをアンインストールしてから新しいバージョンのアプリケーションをインストールしてください。

3. アプリケーションのインストール先 (Salesforce プロダクション環境またはサンドボックス) に応じて**[本番組織にインストール]**または**[Sandboxにインストール]**を選択し、使用条件に同意します。
4. インストールの詳細をクリックします。
5. **[私は契約条件を理解し、同意します]**を選択し、**[確認してインストール]**を選択します。
6. **[管理者のみのインストール]**を選択し、**[インストール]**を選択します。
7. **[はい、これらのサードパーティ Web サイトにアクセスを許可します]**を選択して、アプリケーションが WithSecure Security Cloud サービスに接続することを許可します。**[次へ]**を選択します。
8. インストールが完了するまで待ちます。

 **重要:** アプリのインストールに時間がかかっているメッセージが届く場合、Salesforce からアプリがインストールが完了したメールが届くまでお待ちください。

9. インストールが完了したら、**[OK]**をクリックします。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceがインストールされ、使用できます。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceをインストールした後

1. 権限セットとライセンスの指定します。
2. アプリケーションの設定を行います。手順については、「**管理者ガイド**」を参照してください。

権限セットとライセンスの指定

トピック:

- [WithSecure Cloud Protection User](#) 権限セットを指定する
- [WithSecure Cloud Protection Admin](#) 権限セットを指定する
- [WithSecure Cloud Protection](#) ライセンスを指定する

アプリケーションをインストールした後、WithSecure Cloud Protection for Salesforceの権限セットとライセンスを割り当てる必要があります。

4.1 WithSecure Cloud Protection User 権限セットを指定する

WithSecureのソフトウェアライセンスを購入していない場合でも、組織内のすべてのアクティブユーザーに**WithSecure Cloud Protection User**の権限セットを割り当てる必要があります。

次の方法で **WithSecure Cloud Protection User**の権限セットを指定できます。

1. システム管理者のアカウントで Salesforce にログインします。
2. [アプリケーションランチャー] から [Cloud Protection] を開きます。
3. 管理 > ツール を開き、「ユーザ権限セットの管理」で [指定] を選択します。

Salesforce 組織内のアクティブ ユーザに **WithSecure Cloud Protection User**の権限セットが割り当てられます。

注: 権限セットは、バックグラウンドでアクティブユーザーに割り当てられます。



4. 管理 > ツール で、[有効化] を選択すると、**WithSecure Cloud Protection User**権限セットの自動割り当てが有効になり、WithSecureアプリケーションのインストール後に Salesforce 組織に追加される新しいユーザに権限セットが自動的に割り当てられます。

ヒント: このオプションを有効にしておくことを推奨します。



タスクがアクティブ化されて完了すると、アプリは情報アラートを作成します。

WithSecure権限セットの割り当てに失敗した場合、アプリは権限セットを受け取らなかったユーザIDのリストを含むエラー警告を生成します。

4.2 WithSecure Cloud Protection Admin 権限セットを指定する

アプリケーションの設定、アナリティクス (分析)、およびレポートにアクセスすることが許可されるユーザに、**WithSecure Cloud Protection Admin** (管理者) 権限を割り当てる必要があります。

次の方法で **WithSecure Cloud Protection Admin** ユーザの権限セットを指定できます。

1. システム管理者のアカウントで Salesforce にログインします。
2. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
3. ユーザ > 権限セット > **WithSecure Cloud Protection 管理** を選択します。
4. [割り当ての管理] をクリックします。
5. [割り当てを追加] をクリックします。
6. WithSecure Cloud Protection for Salesforceアプリケーション、分析、およびレポートにアクセスする必要があるすべてのユーザを選択し、[割り当てを追加]を選択します。

4.3 WithSecure Cloud Protection ライセンスを指定する


WithSecure Cloud Protection for Salesforceのライセンスは、アプリケーションを管理するすべてのユーザ、または有害かつ禁止コンテンツに関連するセキュリティ脅威から保護されているすべてのユーザに指定する必要があります。

注: WithSecure ライセンスが指定されていないユーザは、WithSecure Cloud Protection for Salesforceによって保護されません。Salesforce 組織に侵入する可能性のある有害なコンテンツや禁止コンテンツにアクセスする危険性があります

次の方法で、WithSecure Cloud Protection for Salesforceライセンスをユーザに指定できます。

1. システム管理者のアカウントで Salesforce にログインします。
2. [アプリケーションランチャー] から [Cloud Protection] を開きます。
3. 管理 > ライセンスを開きます。
4. 購入したライセンスの数に応じて、次のいずれかを実行します。

- 限られた数のユーザに対して WithSecure のライセンスを購入した場合、ライセンスモードを **[選択したユーザ]** に設定し、**[保存]** を選択して次の手順に進みます。
 - すべてのユーザに対して WithSecure ライセンスを購入した場合、ライセンスモードを **[すべてのユーザ]** に設定し、**[保存]** を選択して次の手順に進みます。
5. **[ライセンス ユーザを選択]** リンクを選択します。
「**[ライセンスを指定]**」ウィンドウが開きます。
 6. ユーザ名、プロフィール、部門別に検索するか、リストをスクロールして、ライセンスが必要なユーザを探します。
 7. [操作] 列の **[指定]** を選択して、選択したユーザにライセンスを指定します。**[すべて指定]** を選択して、検索で取得したユーザのリストに **WithSecure Cloud Protection for Salesforce** ライセンスを指定することもできます。
 8. 設定が完了したら **[閉じる]** を選択します。
ユーザープロファイルまたはその他の基準で自動ライセンス割り当てをオンにすることを検討できます。
 - a) **[ライセンスの自動割り当てを管理します]** をクリックします。
 - b) 新しいライセンスの自動割り当てルールを追加するための検索条件を定義します。
検索条件には、名前、プロフィール、役割、メールアドレス、会社、部門、およびライセンスの値を使用できます。検索ボックスは、部分一致と完全一致をサポートしています。
 - Profile=System は、プロフィール名に System System Administrator などを含むユーザを検索します。
 - Profile="System" は、「System」という名前のプロフィールを持つユーザのみを検索します。
 - パーセント記号をワイルドカードとして使用して、任意の文字に一致させることができます。たとえば、Profile=S%A は、System Administrator だけでなく、Standard User などのプロフィールを持つユーザも検索します。
 - c) **[追加]** をクリックします。
ルールがテーブルに追加され、必要に応じてさらにルールを追加できます。

 **注:** 追加したルールは、行間の「OR」または \boxtimes を使用して読み込まれます。つまり、ルールは、テーブル内のルールのいずれかに一致する新規ユーザにのみ、ライセンスが自動的に割り当てられることを意味します。「AND」および \boxtimes 条件を定義するには、検索条件を同じ行に記述します。
 - d) 指定したルールを使用するには、**[自動ライセンス割り当て]** をオンにします。

WithSecure ライセンスが多数のユーザーに割り当てられている場合、アプリはこれらのライセンスをバックグラウンドで割り当て、ステータスまたはエラーをアラートとして報告します。

アップグレードする


トピック:

- [アプリケーションをアップグレードする](#)


ここでは、アプリケーションをアップグレードする方法について説明します。

5.1 アプリケーションをアップグレードする

WithSecure Cloud Protection for Salesforceの最新バージョンは Salesforce AppExchangeで常に利用できます。アップグレードしても、既存の設定と分析データはすべて保持されます。

 **注:** アプリケーションのリリースプレビューまたはベータ版からアップグレードすることはできません。以前のバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンのアプリケーションをインストールしてください。

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. **Salesforce AppExchange** マーケットプレイスを開き、**WithSecure Cloud Protection** アプリケーションを探し、**[今すぐ入手]** をクリックしてインストールを開始します。
WithSecure Cloud Protection は **Salesforce AppExchange** から入手できます。
<https://appexchangejp.salesforce.com/appxListingDetail?listingId=a0N3A00000EJGqnUAH>
3. アプリケーションのインストール先 (Salesforceプロダクション環境またはサンドボックス) に応じて**[本番組織にインストール]** または **[Sandboxにインストール]** を選択し、使用条件に同意します。
4. インストールの詳細をクリックします。
5. **[私は契約条件を理解し、同意します]** を選択し、**[確認してインストール]** を選択します。
6. **[管理者のみのインストール]** を選択し、**[アップグレード]** を選択します。
7. **[はい、これらのサードパーティ Web サイトにアクセスを許可します]** を選択して、アプリケーションが WithSecure Security Cloud サービスに接続することを許可します。**[次へ]** を選択します。
8. インストールが完了するまで待ちます。

 **重要:** アプリのインストールに時間がかかっているメッセージが届く場合、Salesforce からアプリがインストールが完了したメールが届くまでお待ちください。

9. インストールが完了したら、**[OK]** をクリックします。

WithSecure Cloud Protection for Salesforceがアップグレードされました。

アンインストール

トピック:

- 権限セットの指定を削除する
- アプリケーションをアンインストールする

このセクションでは、削除手順を説明します。WithSecure Cloud Protection for Salesforceあなたの組織から。

アプリケーションの削除には次の手順があります。

- 権限セットの指定削除
- アプリケーションのアンインストール

6.1 権限セットの指定を削除する

アンインストールする前に、WithSecure Cloud Protection for Salesforceアプリケーションを削除する必要があります。セキュアクラウドプロテクションユーザーありそして **Secure Cloud Protection** 管理者付きSalesforce 組織内のユーザに割り当てた権限セット。

権限セットを削除するには

1. システム管理者のアカウントでSalesforceにログインします。
2. [アプリケーションランチャー] から [Cloud Protection] を開きます。
3. 管理 > ツールを開き、「ユーザの権限を管理する」で [削除] を選択します。
4. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
5. ユーザ > 権限セット > WithSecure Cloud Protection 管理 を選択します。
6. [割り当ての管理] をクリックします。
7. [Remove Assignments (指定の取り除き)]
8. [OK] をクリックしてユーザの削除を確定します。

6.2 アプリケーションをアンインストールする

すべてのユーザ権限を取り除いた後、WithSecure Cloud Protection を削除する必要があります。

次の方法で WithSecure Cloud Protection をアンインストールできます。

1. システム管理者のアカウントで Salesforce にログインします。
2. 環境設定を開き、[設定] を選択します。
3. アプリケーション > インストール済みパッケージ を開きます。
4. [WithSecure Cloud Protection] の横にある [アンインストール] を選択します。
5. 「パッケージのアンインストール」ページで、下にスクロールして [はい、このパッケージをアンインストールして、すべての関連コンポーネントを永久に削除します] を選択します。

WithSecure Cloud Protection がアンインストールされると、メール通知が届きます。